

津山文化

津山市文化連盟

会報

第 18 号

ごあいさつ

加茂文化協会 会長

岡田 理恵子



コロナも一段落して文化協会の活動もやっと以前の状態に戻りつつあるようで一安心しているところです。

文化祭での発表会や展示会での会員の笑顔に文化活動に携わる喜びが伝わってきました。

しかし、近年、会員の高齢化に伴う様々な問題点を取り上げられております。活動を続けたい気持ちは持っているが、体の調子とか運転のことを考えたらとか高齢者なりの理由で辞めざるを得ない方も多数おります。そこで若い方に参加を促そうと、努力をしているところですが、若い方の加入は思い通りにはいきません。変化の厳しい現在、日ごろの生活や子育てで手一杯の若い方は心の余裕が持てないのが現状かもしれません。

文化活動はスポーツ活動に比べて地味なものです。しかし、豊かに暮らすため、又、向上心を持ち続けるためにも、先を見据えて現在の文化協会の活動を現在の我々で継承してゆきたいものです。

昔ながらの仲間意識を大切にしつつ、現在の文明の利器を充分活用してゆければと思います。



津山市文化協会

津山市文化協会は、新型コロナウイルス感染症の5類移行による規制緩和もあり「津山芸術文化祭」や、「西東三鬼ふるさと俳句投句函」、「広報部会設立」等様々な事業を行うことができました。今後も、津山市の芸術文化の魅力を多くの方に知ってもらえるよう活動してまいります。

津山芸術文化祭

「津山芸術文化祭」では展示とステージ合わせて22団体が参加し、来場者数は昨年より329名多い1,048名の方にお越しいただきました。

今年、ポン菓子やハンバーガー、コーヒーなどを販売するキッチンカーに初めて出店していただき、来場者・スタッフともにグルメも楽しみながらの開催となりました。

【展示会】令和5年6月24日(土)

～25日(日)

津山文化センター

【ステージ会】令和5年6月25日(日)

津山文化センター

広報部会

認知度向上と会員増加を目的として「広報部会」を設立しました。

広報部会では、津山市文化協会ホームページの制作や、会員が安全にWEB等を利用するためにWEB研修会を開催しました。

ホームページでは、協会や会員のイベント情報や活動を随時掲載していきます。ぜひご覧ください。

〈津山市文化協会 HP〉

<https://t-bunka.e-tsyuyama.com>

【WEB研修会】

12月6日(水)

12月13日(水)

12月20日(水)



津山市文化協会HP



西東三鬼

ふるさと俳句投句函

令和5年度入選作品

■ 一般の部

投句函選考委員会

委員長 生田恵美子
委員 武本 節子

沢 紅子
福島 徑子

(令和5年4月締め切り)

- ・お城山花の間に間に生家見ゆ
- ・鶴山の一目凶屏風桜舞ふ
- ・蒲公英の石垣を蹴り咲きにけり
- ・格子戸を律儀に覗く雛めぐり
- ・津山駅桜の城に途中下車
- ・砲弾も戦車も不要チューリップ
- ・山峡に目覚めの音や雪解水
- ・村の子のあいさつ上手葱坊主
- ・伏せて待つ盲導犬に花吹雪

倉敷市 綱島 美真理 特選
倉敷市 角脇 隆子 特選
滋賀県 いしかわ つよし

津山市 杉山 武明
神奈川県 達 人

鏡野町 高原 喜久子
鏡野町 藤田 明子
鏡野町 原 洋一
津山市 岡田 邦男

(令和5年8月締め切り)

- ・洋学の津山なりけり新樹光
- ・本丸に響け鐘の音夏椿
- ・花合歓や移動図書館待つベンチ
- ・半夏生箒目正しき千光寺
- ・吉井川せせらぎに謝す良夜かな
- ・八月の天へ鋭き忠魂碑
- ・村の子の三角ベース独活の花
- ・地球儀が首をかしげる夏至の朝
- ・夏の空ダム湖の光る村に住み
- ・万緑や売り出し中の漫才師

兵庫県 金延 重光 特選
広島県 小田 康枝 特選
津山市 岡田 邦男
津山市 杉山 武明
滋賀県 いしかわ つよし

鏡野町 西村 泉
鏡野町 原 洋一
津山市 森川 浩延
鏡野町 藤田 明子
浅口市 土屋 鋭喜

■ ジュニアの部

- ・菊日和若き僧侶の手の白し
- ・とつ国の言葉まじりつ紅葉狩
- ・慎ましく駅舎に灯りクリスマス
- ・石垣の城跡見守る返り花
- ・稲妻に通り道あり峡の村
- ・冬鴉の声をもらして三鬼句碑
- ・稲穂波風のはさまに父母の声
- ・子が愚図り演目変わる村歌舞伎
- ・冬木の枝支へ支へて命つぐ
- ・冬囲父に倣へる縄結び

(令和5年12月締め切り)

鏡野町 西村 なほみ 特選
岡山市 松浦 昌子 特選
滋賀県 いしかわ つよし
東京都 田辺 睦美
鏡野町 藤田 明子
津山市 岡田 邦男
鏡野町 原 洋一
津山市 齋藤 まなみ
岡山市 鶴井 富士江
津山市 岡田 邦男

(令和5年4月締め切り)

- ・桜咲く城壁よりも高く咲く
- ・新しい青の自転車入学す
- ・兄妹で神社に参る春休み
- ・雨の中見るさくらもきれいだな

(令和5年8月締め切り)

兵庫県 野中 健太
大阪府 バターしいたけ
大阪府 柴田 純菜
津山市 合田 萌々愛

- ・見つけたぞバッタのはねた草の中
- ・たのしいなみんなまつた花火だよ
- ・みずうみに白いじゅうたんはすの花
- ・つやまじょうくろと白です。きれいです。愛知県

(令和5年12月締め切り)

大阪府 柴田 純菜
兵庫県 MAEDA KOKORO
倉敷市 みどりんぼし
愛知県 アオウン星矢

- ・ごぼうびはロールケーキよ運動会
- ・さくらのは色かえながらおどってる
- ・紅葉の津山のお城自まんです
- ・水鳥がたたずみ光る水面かな

大阪府 柴田 純菜
兵庫県 中村 武之進
津山市 牧野 来未
岡山市 土江 悠月

今年も多くの投句をありがとうございました。津山市文化協会

令和5年度投句数 (649句)
開函以来総投句数 (24,804句)

加茂文化協会

コロナ感染症が五類移行に伴い、加茂文化協会も息を吹き返したようにグループ活動も活発さがうかがえるようになりました。昨年は、加茂町文化祭が文化協会と公民館活動を中心とした発表・展示だったのですが、今年度は一般市民の参加も可能になり以前と同じ規模での開催が可能になりました。しかし、4年の空白は大きく文化協会会員の皆さまの協力が大きな力となりました。

4年ぶりの研修旅行も実施しました。まだ不安に思う人もありましたが参加者は鳥取市にある玄忠寺のふすま絵と荒木又右衛門記念館の見学・砂の美術館見学をし、久しぶりの研修と交流を楽しみました。

加茂文化協会は芸能部門と芸術部門に別れ、芸能部門は基本的に年1回の

「芸能の集い」と称し発表会を実施しておりますが、芸能部門は文化祭に参加して展示をするのみで他に発表の場がなかったため、今年度文化協会発足以来初めてとなる作品集を発刊することが出来ました。会員の皆様の意欲と協力によりスムーズな編集活動もでき、部会の皆さまの踏んできた場数と蓄えた知識と技術が後に続く人々の指標や励みとなれば幸いです。



阿波文化協会

今年の活動は、春の地域参加のバザーの開催からはじまりました。

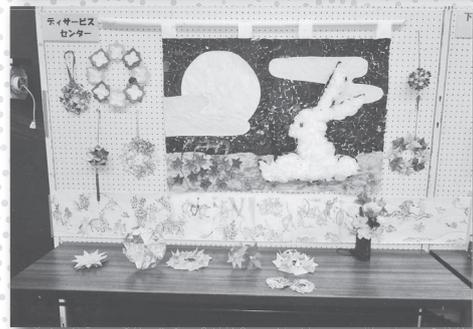
長年交流の加茂・阿波カラオケ交流発表会では練習の成果を披露して交流を深めました。

秋には第12回を迎えた「阿波地域文化祭」を開催。準備から開催まで毎年ながら大変な作業でしたが、会員の皆様の協力のもと、多くの皆様に参加していただき2日間の楽しいものとなりました。

この文化祭は、会員をはじめ、地域の方々の自作の作品や、公民館活動の中での作品、生け花や収集作品等を展示しました。

懐かしい歌の数々をゆっくり聞きたい、おしゃべりもしたい、久しぶりの人に会いたいとの思いを詰め込んだ、懐かしいビデオの上映会に話を弾ませ

た後の茶話会と、喜んで参加していただけの楽しい事を開催しました。
会員の高齢化もあり、できる事は限られていますが、地域の状況に添いながら活動を進めていきたいと思っています。



勝北文化協会

令和5年度は嬉しい事からスタートしました。5月16日に勝北文化協会会長上高進氏が「津山市地域文化振興団体リーダー感謝状」を受賞されたのです。長年地域文化振興に貢献されたことが認められ喜ばしい事でした。今後ますますのご活躍を願っています。

さて、5月25日には久々に会員が一堂に会しての総会を開催することができ、勝北文化協会の大きなイベントである秋と春の文化祭の実施が決まりました。

11月11、12日の秋の文化祭（ふるさと祭り）では、ハートピア勝北野外ステージにおいて子どもたちを中心とした子供ステージフェスティバル等の開催や、屋内やテント村での展示発表を行い、祭りの最後には、恒例の「餅投げ」を復活させることができ大いに盛り

り上がりました。春の文化祭は3月9、10日にプロ歌手によるスプリングコンサートをかわきりに、会員によるステージ発表や嵯峨御流、池坊生け花の展示を行いました。

その他公民館のオープンスペースで各会員の活動成果の展示も引き続き行っています。各団体毎に5日間の展示ではありますが、ぜひ多くの方に御覧いただきたいと思えます。



久米文化協会

今年度は22団体でスタートしています。

〈総会〉 令和5年5月12日

〈役員会・評議委員会〉 6回

〈ふるさと祭り実行委員会〉 5回

〈文化連盟役員会〉 2回

〈文化祭〉 令和5年10月28日～29日

〈ふるさと祭り芸能大会〉

令和5年10月29日

〈おどり合同発表会〉

令和6年2月18日

〈梅祭り芸能大会〉 令和6年3月17日

〈自主事業〉

・「研修旅行（後楽園・岡山城・大原美術館・倉敷美観地区）」

令和5年6月29日

コロナ明け久々のバスでの研修は近場でできるだけ安全な場所と言うこと

で県内での研修となりました。快晴のもと素晴らしい芸術・文化に触れることができました。

また、皆さんとの親睦も深められ、バスの中でも笑顔の花が咲きました。

・「坂本雅幸太鼓&トーク」

令和5年9月24日

第21回県民文化祭参加事業として、素晴らしい芸術文化に触れる自主事業、格知大学50周年記念事業として、地元出身の和太鼓奏者 坂本雅幸さんの太鼓とトークショーを行いました。和太鼓への道に進まれるきっかけから経験してきた楽しいトークと、体験コーナー、そして迫力ある和太鼓の響き、演奏は圧巻でした。

幅広い世代の方と感動を共にすることができ素晴らしい演奏に酔いしれたひとときでした。

今後も、会員同志の絆をさらに深め、新たな活動ができる文化活動となるよう新年度を迎えたいと思います。



令和5年度 くすのき賞



おめでとう
ございます。



頭士 深雪

受賞のことば

私は花が大好きです。長年、身体障害に苦しみながらも、飽くことなく楽しく一生懸命花を描き続けてきました。無心になってのめり込める世界があったからこそ、障害の辛さに耐えてこられたのだと思います。これまで私を守り育ててくれました花と日本画に感謝するばかりです。

この度ご推挙により、伝統ある「くすのき賞」を授与していただきましたこと、身に余る光栄でございます。家族をはじめ、ご支援いただきました皆様、心から深甚の感謝を申し上げますとともに、津山市の芸術文化がますます発展されますことを祈念いたします。

令和5年度 津山市文化連盟功労賞



おめでとう
ございます。



久米文化協会
江田 雅子

受賞のことば

津山市文化連盟より功労賞を頂き有難うございます。切り絵の根本には「墨に五彩あり」の思想が流れております。墨の黒にはあらゆる色彩が含まれております。見る人は其々の感性によって味わうことが出来ます。

切り絵が黒い線や面を大切にする美術として登場し、多くの人々の共感を得た理由は、日本人の中に流れている美意識が培われていたからだと思えます。久米公民館で月一回切り絵、月二回パステル画の教室をやっています。また小学校、各地区の婦人部を対象に切り絵、パステル画の指導を頼まれることもありま

師範の資格を頂いてから、海外の作品展にも出品してフランスのル・サロン展に八回入選して永久会員となっております。今後はコッコツと自分なりのやり方で作品制作をやっていきたいと思っております。

後記



津山市文化連盟会報第18号の発刊にあたり、各文化協会の皆様には、ご多忙の折にもかかわらずご協力を賜り、誠にありがとうございました。

令和5年度は5月に、阿波文化協会・大塚昭典会長と勝北文化協会・上高進会長が、長年地域の文化振興に貢献されていることから津山市より感謝状を授与されるという嬉しいニュースから始まりました。また、各文化協会の活動を支援する新たな事業を始め、今年度は4つの文化協会が参加し実施した「おどり合同発表会」の支援を行うなど、コロナ禍も明け、文化活動においても徐々に活気が戻ってきた一年間になったと思います。

今後もこうした皆様の活動を支援しながら、津山の文化振興を推進してまいりますので、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

(津山市文化連盟事務局)

津山文化

発行 津山市文化連盟

事務局

津山市観光文化部
文化課内

印刷 津山朝日新聞社

令和6年3月発行